

重点施策 15 図書館の蔵書及び機能の充実

【施策方針】

地域文化の創造・発展に寄与するとともに、誰でも気楽に利用できる図書館を目指し、機能と経営の充実を図る。市民の読書意欲に応え、教養が深まる読書活動を推進する。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 図書館資料の整備及び充実
- ② 読書活動の推進及び読書団体等の育成
- ③ サービスの充実

(2) 主な施策・事業の実施状況

① 図書館資料の整備及び充実

図書館は、蔵書の充実が最優先課題である。予算編成時においては、例えば小中学校では図書購入の予算が潤沢にないことから幅広く新刊を購入することができず、市立図書館がその受け皿としての役割を果たすことが重要となっていることなどを説明し、蔵書の充実に努めている。

蔵書の選択については、図書館流通センターから出される新刊リスト、ベストセラー、市民からのリクエストにより決定した。

② 読書活動の推進及び読書団体等の育成

ボランティアグループによるおはなし会、子育てサロン・保育所・小中学校への読み聞かせ訪問、図書館いこいこ！事業、出張図書館など各機関と連携して読書活動を推進した。おはなしボランティア養成講座を開催し、ボランティアスタッフのスキルアップを図った。

③ サービスの充実

図書館のコンピュータシステムを更新し、更なる利便性の向上を図った。

予約・リクエスト・相互貸借・レファレンス(調査)などのサービスを迅速に実施した。

令和4年度から移動図書館車両のステーションの見直しを行い、保育所や幼稚園、小・中学校なども含め運行し、大幅な利用増につながった。

【事務事業点検評価委員意見】

- 図書館には、様々な種類の本があり、新鮮な驚きで感動することも多い。大人も子どもも、図書館で一生忘れることのない一冊に出合うことも多い。学校で学んだ作家の、他の作品を読みたい子どもたちも、多くいると思われる。市民・保内図書館とも、蔵書がとても充実している。今後も、予算確保に努め、新刊・ベストセラー・児童書などを揃え、市民に喜ばれ

る図書館であってほしい。

- 最近の子どもたちは、ゲーム等に時間を費やし、本の良さを知らずにいることが多い。本の世界に浸る楽しさを、ぜひ知ってほしい。本に親しむためにも、読み聞かせのボランティアグループの活動や読書活動事業の推進など、今後もしっかりと支援してほしい。
- コンピュータシステムの更新により、便利に本を借りられる仕組みが整ってきた。また、移動図書館車両のステーションの見直しによって、保育所や幼稚園、小・中学校が、利用しやすくなり、利用者が大幅に増えたことは、喜ばしいことである。

【自己評価】

- 市民が必要とする知識や情報を、必要な時に適切に入手できるよう、蔵書や図書館サービスの更なる充実に努めたい。
- おはなし会、子育てサロン・保育所・小中学校への読み聞かせ訪問、みかんぼんぼん文庫、図書館いこいこ！事業、出張図書館など各機関と連携して読書活動を引き続き推進していきたい。読み聞かせボランティア団体との連携をさらに深め、活動が継続できるよう今後も支援していきたい。ブックスタート事業やセカンドブック事業は、保護者が子どもに読み聞かせする機会となるため今度も継続して実施し、読み聞かせの啓発に努めたい。
- コンピュータシステムの更新によりホームページが見やすく改善された。更に利用者の利便性を高めるため、スマホで本を借りられるサービスも展開していきたい。移動図書館については保育所や幼稚園、小・中学校、放課後児童クラブ、公民館を巡回し、ステーション見直し前と比較して利用者数が約2.5倍、貸出冊数が約10倍に増加しており、利用者に変喜ばれている。今後も利用者の期待に応えられるよう、移動図書館の蔵書を充実させていきたい。